

「いつでも・どこでも・誰にでも」
たのしい科学の体験を！

2学期も楽しかった！
皆さん！ありがとうございました！
3学期もどうぞよろしくお願ひします。



■今日はお楽しみ会！みんなでワイワイと・・・

マジック・おりぞめ・ミニ忘年会を楽しみましょう！

★早いですね。今日で2学期も終わりです。2学期も「色々な科学の授業に、もの作り」楽しんでいただけましたか。おもしろ「子ども科学・手作りおもちゃ体験」科で出会った偶然を大切にしながら、「多様な科学の世界を楽しく伝えるように努力」してきました。「科学って楽しい！もの作りは面白い！」と思ってもらえれば大成功。★不十分な点は、3学期の新たな実践にてカバーしていきたいと思ひます。皆さん！これからもどうぞよろしくお願ひします。

*

12月20日（水）

環境実験

<イオンと食べもの>

★昨日は、「自然文化を楽しむ科」で、イオンの実験をしました。今回も、結構予想が分かれて、「ワクワク・ドキドキ」の連続で、楽しく授業することができました。最後に

「楽しかった！」と大きな拍手をもらうことができ嬉しく思ひました。★「皆さん！今日は小学生になって下さいよ！」と言っても、問題が始まれば皆さん真剣です！「エッ！ウソ！なんで！」とどこでも聞く、楽しいフレーズが飛び交いました。**やっぱり、科学の授業は楽しい！**



■12月16日・吹田〈おりぞめ教室〉講師・高松真津子・リーダー佐藤和次

高松講師とリーダー佐藤様の指導で楽しい〈おりぞめ教室〉になりました。

★今日は、三角の折った和紙を染めるのが4個・折ってない紙で自由折りで染めるのが2枚・緑色グループに染めるのが2個・・・とたくさん染める体験をしてもらいました。自分の染めたものが満足したようで、ニコニコ顔で写真におさまっていた。スタッフの皆さんが、子ども達に「色がきれいにできてるね!」「素敵だよ!!」など、いっぱい声を掛けてくださったので、子ども達も自信を持ったようでした。★今回は、「ラミネートフィルムを挟む」という工程を省きましたので、台紙のサイズも〈八つ切りサイズ〉と今までより、数センチ小さめにしたことによって、作業がしやすかったようでした。佐藤さんのおっしゃる通り、ラミネートせずに持って帰ることによって、「家でも続きが出来る!!」その通りだと思いました。「おりぞめを使った工作作り」も「だんだんツリー」1本に絞ったことによって、時間的余裕ができ、ツリーの飾りつけを楽しめました。

〈感想〉「楽しさ」 5. とても楽しかった26名 4. 楽しかった2名 3. 2. 1. 0名

「内容」 5. とてもよくわかった21名 4. 良く分かった5名

3. どちらとも言えない1名 2. 1 0名

〈感想文〉

・弟のおりぞめがきれいにできていました。だんだんツリーもじょうずにできてすごかった。たぶん色染めがすごかったから、上手に出来たんだと思う。青や色を使って無くっても水色や青ができてすごいなあと思った。次の実験も楽しみにしています。

・今回はすごく楽しかったです。授業の内容もよくわかったので、やりやすかったです。次回も楽しみにしています。・おりぞめの絵がかっこよかった。・初めてでもきれいにできた。・色染めはいろいろな色や形（模様）になるので、わくわくした。ツリーはツリーの葉を切るのが難しかったが、飾りつけがおもしろかった。（高松）

偏見をおしころそうとするな

板倉聖宣（理学博士）

私たちはだれでも、大なり小なりいろいろな偏見らしきものをもってあるいはもたされて生きている。それらの偏見の中には、他人を差別し、軽べつしたりするように働くものも少なくない。そういう偏見はしばしば社会的な糾弾の対象になったりする。そして多くの人々も、「自分もそんな偏見をもっているが、これはやっぱりいけないことだ。そんな偏見はすてなければいけない」と考える。ところが、「そう思っはいけない」「こう考えなくてはいけない」と思おうとすればするほどそれらの偏見は心の中で大きく頭をもたげてきたりする。

私は、自分の心の中の偏見をそのように処理しようとすること自体がまちがっているのではないか、と思う。偏見らしきものにせよそれが自分の心の中で生じたのなら仕方がない。そんなものは自分の心の中の出来事だからといって自分の力で弾圧できるものではない。そういうときには、その偏見がたしかに偏見であるのかどうか、ちゃんとたしかめるようにして、きれいさっぱりさせた方がよいのだと思う。そのためには偏見らしきものを仮説・実験にまで高めるようにすればよいのである。どうも言葉足らずだがこの辺の問題は、いつかもっとくわしく論じたいものと思っている。（国立教育政策研究所）★板倉先生40代のコメント（音田）